

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	15	学校名	奈良情報商業高等学校 商業高等学校
----	----	-----	----------------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	たまつえストア
教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい	会計ビジネス科3年生「課題研究」における授業として取り組んだ。 学校と近隣住民との連携機会の増加を目標とした。
連携・協働相手	桜井まちづくり株式会社
地域と共有している 目標・課題等	実学教育推進と地域連携活動を目標に活動した。桜井本町通り商店街で開催するソラほんまちフェスタの来場者数増加をめざした。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
桜井本町通りの歴史を学び、地域活性への取組として販売実習をおこなった。桜井まちづくり株式会社が主催する地元イベント「ソラほんまちフェスタ」にて海産物を販売する実習を行った。また、桜井まちづくり株式会社の協力のもと、本町通り商店街の一角の空き店舗を活用し、和菓子の販売を行った。その実習に向けて、仕入れ業者の開拓や広告の作成について学び、販売品目の決定や価格設定などを行った。	

2. 事業の成果と課題

<p>地域と協働した取組を継続的に行ってきたため、地域で認知されるようになった。ソラほんまちフェスタや空き店舗活用販売実習では多くの方が来場された。商業科で学習した内容の集大成としての販売実習の諸活動に自主的に取り組んだ。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症再拡大により、小学校と連携した活動は行うことができなかった。</p> <p>今後は、学校外での販売実習以外に、地域の方が学校に訪問して下さって行う販売実習を計画していきたい。</p>
--

